

2023年度(令和5年)事業計画・予算について

2023年3月27日(月)に、2022年度第6回理事会が開催され、2023年度事業計画(案)、2023年度予算(案)等の議案を提出し、全会一致で承認された。以下、2023年度事業計画と予算について、概要を報告する。

2023年度の事業計画について、次の5項目を最重要項目として取り組んでいく。

- ① 各部署への職員補強と育成
- ② 特に経営に関する知識ある役職員
- ③ 50歳以上の利用者の対策と「B型」生活介護事業のあり方
- ④ 生産機器を大切に利用
- ⑤ 弱体化している営業体制の見直し

最重要項目

の補強と数値分析対策
50歳以上の利用者の対策と「B型」生活介護事業のあり方
生産機器を大切に利用

入において、生産部門において取り組むこととする。

◎ 理事者項目、各部署の専門項目、利用者に関する項目・内外部研修

2023年度(令和5年) 予算 (単位:千円)

	2023年度	2022年度	2022年度
	当初予算 A	実績見込 B	増減比 C(A÷B)
リネン・クリーニング収入	872,800	673,000	129.7%
ホテルリネン収入	402,900	334,800	120.3%
観賞魚収入	222,800	200,000	111.4%
ウエス収入	70,000	57,000	122.8%
あわび収入	30,000	26,400	113.6%
その他就労支援事業収入	2,800	6,000	46.7%
就労支援事業収入	1,601,300	1,297,200	123.4%
自立支援費等収入	386,500	385,000	100.4%
その他雑収入	73,400	73,200	100.3%
収入合計	2,061,200	1,755,400	117.4%
売上原価	706,600	665,200	106.2%
人件費等	779,000	650,000	119.8%
その他一般管理費	392,400	342,800	114.5%
支出合計	1,878,000	1,658,000	113.3%
事業収支差額	183,200	97,400	188.1%
設備整備補助等特別収入	13,600	6,100	223.0%
設備整備等特別支出	28,100	19,900	141.2%
設備整備収支差額	△14,500	△13,800	105.1%
予備費	△168,700	0	-
当期資金収支差額	0	83,600	-

(社会福祉法人会計基準に定められている福祉活動収支等の詳細項目を一本化し、簡略化した形で収支予算書を作成しております。)

日の出事業所 非常用発電機入替工事完了のお知らせ



令和4年度の設備計画において予定していた日の出事業所の非常用発電機の入替工事について、東京都の令和4年度民間社会福祉施設設備改善整備費の補助を戴き、令和5年2月を以って無事完了した。これまで設置していた非常用発電機については、平成9年の施設開設当初に設置したものであり、経年劣化に伴い、自動運転機能が作動しない等の不具合が生じていたが、今回の入替工事により、利用者が安心して過ごすことができる、安全な建物環境の提供につながった。

(日の出事業所 生産部 課長補佐 橋本紀子)

① 職員補強と育成
最悪の状況下に置かれている人手不足について、募集の仕方の根本を専門家にアドバイスをいただき、外国人労働者の導入においても、生産部門において取り組むこととする。

◎ 理事者項目、各部署の専門項目、利用者に関する項目・内外部研修

◇ 職種別に最低限覚えておかなければならない基礎項目や内容の研修資料の作成配布、専門家に定期的研修依頼。

◇ 同業者、施設関係者に対する研修

□ 経営理念を共に推進するために『リーダーシップが育つ土壌づくり』も併せて推進する。

② 『はたらく』への支援
重度障害等の方々の作業場について、今後を見据え、作業場の拡充や安心して作業に取り組める環境を整備するとともに、作業マニュアルを動画や写真を多用し、現状に即した分かりやすい内容に改善する。

③ 『くらす』への支援
当会の経営理念に基づいた自立生活移行を推進するとともに、

③ 早急に取り組む利用者支援対策
B型で就労している50歳以上の利用者について、加齢に伴う意欲低下等を考慮し、B型から生活介護等の軽作業への移行に

日本財団様から助成いただき 福祉車両助成事業完了

2022年度福祉車両助成事業として日本財団様より、福祉車両1台の助成を頂き、令和5年3月23日に、立川事業所に送迎用車両として納車された。

日本財団様からの多大なご支援に感謝し、大切に使用させて頂きます。

(立川事業所生産部 部長 関根吉明)



所得保障についても前年度の平均工賃を上回る工賃アップを実施し、障害年金等の収入と合わせ、自立生活を実現する取り組みを進める。

④若年層を中心とした新規利用者の獲得

相談支援事業所等と密に連携を図り利用者の獲得に努める。また、特別支援学校卒業後の進路の選択肢につなげられるように、中等部における職場体験や、高等部のインターンシップ（就業体験）など

の受け入れを積極的に行う。

また、特に生活介護の事業利用を検討される方々については、送迎サービス利用のニーズが高いため、利用者が通いやすい環境を整備するために、送迎コースの拡充を検討する。

⑤利用者及びご家族への面談・説明会・見学会

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、自立生活移行等について利用者、ご家族等との面談等を見合わせていたが、今年度は感染状況が踏まえたうえで、計画的に実施する。

④生産部門の機器部品の定期的交換&メンテナンスの徹底管理
個別機器類保守管理
理カルテ表を参考

令和5年度昇格・人事異動発令報告

令和5年度の昇格及び人事異動を左記の通り発令した。今年度は、4名の職員が昇格した。立川事業所の所長には、新たに鈴木所長が就任し、生産部として橋本課長が昇格した。日の出事業所では、新たに小川所長が就任した。サービス管理責任者には、清水係長が異動となり、大沼係長が昇格した。また、生産部の原田課長補佐が昇格を行った。

令和5年度 昇格・人事異動

氏名	新所属・役職
小川美智子	日の出リハビリ 所長 (管理者) ワークスタディ日の出 所長 (管理者) パステル日の出 所長 (施設長)
鈴木 博	立川リハビリ 所長 (管理者) ワークステーション立川 所長 (管理者)
友野 浩司	日の出事業所 運輸部 課長 営業本部 営業三部
敷根恵美子	コーポサンライズ (管理人) 日の出事業所 生産部 課長
橋本 隆二	立川事業所 生産部 課長
橋本 紀子	日の出事業所 生産部 課長補佐
原田 友章	日の出事業所 生産部 課長補佐
清水 遼	ワークスタディ日の出 サービス管理責任者 日の出事業所 利用者支援部 係長
大沼 琴美	日の出リハビリ サービス管理責任者 日の出事業所 利用者支援部 係長

期待している。

(管理部 係長 中村恵輔)

に何を記録に残したら良いかを管理部、生産部で確認し合って記録を取ることで、機器類の性格を覚え、余計な経費を掛けないようにする。また、財務や管理理部は本書を定期的に目を通し適正に機器管理が実施されているかを確認する。

⑤利用者の自立生活移行のために、営業員の確保に努力する

東京リハビリ協会の2023年度で一番重要な項目の一つは、営業体制の再構築である。特に営業員の増員を含め、営業一部部の再建に取り組む。

(法人本部 山本真太郎)

59年間のTRAの歩みの一部を紹介 「苦言・甘言」2023年度スタートにあたって

我慢に我慢を重ねてきたコロナの下火に安堵しているが、一方では第9波が来ているニュースもあり、まだ油断は禁物である。

来年度、弊会（以下TRA）の創業60周年を迎えるに当たり、関係者に少しでもTRAの歴史を理解した上で迎えてほしいので、今年度発行される本紙に、数回に分けて過去の利用者支援やTRAの経営関連、この度、障害者雇用や就労に関する国の新制度「就労選択支援制度」や障害者授産施設（現B型）誕生から60余年にわたって改善されない、利用者の老後の生活を左右する低賃金問題等を記事にしたい。

過去の歴史の一端を

25年前の利用者は今より高い所得

一人210万円を超えていた年収

我が国初の入所授産廃止と自立移行

25年前の1997年、老朽化した身障者入所授産施設、稲城リハビリの建て替え検討中、当時厚生省が授産関係者に勧めていた「働く場と生活の場」の「職住分離施設」を検討し、我が国で初めての

試みとして、入所授産施設を廃止し、通所授産施設に切り替える事を決定した。

稲城市の土地は、行政による「多摩ニュータウン地域」に指定され、多くの規制が設けられ建設が出来ず、近隣の日の出町に身体・知的障害者の二つの通所授産施設を新設した。

当時、稲城リハビリの寮で生活していた40名の寮生や家族と話し合いを重ね自立生活移行を決定した。

寮生活からの脱却その一

効果靚面、自立生活直前の生活訓練

自立生活開始に当たり、日の出

施設開設一年ほど前から現在、評議員の倉重氏（当時所長）を責任

者に約一年を掛けて駅近くの繁華街等に住宅を確保し、同時に生ま

れて初めて自立生活に入る人達的不安を解消する為に、生活に必要な事を研修する為、4人1組で生活訓練を行なった。

開始に当たっては、トラブルを起こす事を心配し猛反対していた近隣住民が、研修の内容を見て主旨を理解され、10名を超える主婦の皆さんが日々、交代でボランティアとして、鍵の掛け方、電気操作、火の扱い、食事作り、風呂や掃除の仕方等々長期にわたって指導下さり、全員が教えられた事を会得し自立生活に入る事が出来た。

40名の利用者の年間工賃115万円
一人平均の年間総所得は211万円

移行当時の利用者は身体障害者で、作業の中心は高齢者施設利用者が使用の布おむつのたたみ作業。重度者には最適の手作業。40名中

30名は1種の重度障害、この製品は利益率も高く利用者の年間工賃は40名平均で年収115万円。障害年金を合算すると年収211万

円に。

又、確保した住宅の家賃は平均1軒5万円前後。

利用者も法人も初めての経験。万が一の事を考え、2名1組で2LDKを借り、1名25千円前後の負担に抑える事が出来た。

他人の束縛を嫌った利用者

開始当初は、パート職員数名を配置し、毎日近隣のスーパーを始め商店街への買い物や、食事や掃除や洗濯、風呂等々の手伝い。しかし、半年が経過したある日、数名の利用者から「生活に慣れたので、長期間他人に部屋に入られるのは、抵抗があるので」との申し入れがあり、本当の意味の自立生活を営む事になった。

その後、こんな事もあった。福祉ホームに空部屋が出たので入居希望を募ったところ、誰も手を挙げなかった。

理由は「束縛の生活がいや！」であった。現在利用者も多様化し、知的障害者が70%を超え、身体・精神合わせて185名の定員。自立生活移行者も104名になって

甘言

甘

生輔
公恵

藤村
斎中

シリーズ33

Series



文責:業務執行理事

資料:管理部 係長

寮生活からの脱却その二 自立生活に移行すると同時に 7人の寮生が結婚の驚き!

いるが、関係職員は25年前を参考に接してほしい。

現在、60歳を過ぎた木村夫妻は二人とも一種の重度者でありなが



栗原夫妻



山下夫妻

ら年収400万を超える工賃を得て、所得税を納めながら元気に共稼ぎをしている。

また、栗原夫妻も元気に働いている。ただ山下夫妻は山下君が残念な事に病気が原因でご逝去。

共に高齢になっても元気に働いている姿を見ると、寮から解放して良かったと心から思っている。生活の支えになっっている高工賃を生んでくれる職員各位に感謝である。

もし、25年前、厚生省の勧めを受けなければ、あの時の利用者の皆さんは一生寮にいて結婚出来なかったのではないのか。また、一生涯束縛の中での生活に縛られていたのでは。



木村夫妻

自立生活を支える工賃の持つ意味は深く、多くの施設関係者は生活を支える工賃支給の方向性を

求めていたいただきたい。我々も協力は惜しみません。

寮生活からの脱却その三 6畳一間に赤の他人3人で24時間 65年前、工賃は今より高額

自分は1957年(昭和32年)、人口約4千人の片田舎の高校を卒業したが、戦後の復興中でもあり障害者の働く場など無く、叔父の会社に居候。ラッキーな事に翌年、身障者収容授産施設制度が誕生し、早速利用者として入所し6畳間に3人の生活。

厳しい事もあったが、住むのも食事も無料。毎日の風呂もタダ。間違いなく工賃は現在より高かった。

日給245円、初めて給料袋開封!入っていた金額はなんと6、730円。2年後に寮を出て道営住宅を借りた時の家賃は僅か月千円。如何に物価が安かったか。母子家庭の母に毎月3千円の仕送りも出来た。

卒業後も時々逢っていた同級生の多くも就職先が無く、町の山奥にあった炭坑の誰かが嫌がっていた穴に奥深く入っての石炭採掘担

当で就職。

給与は13千円台、彼らが言った事は「お前は家賃も食費も無料、その上風呂は毎日タダ。俺達より良いではないか」

物価を比較しても、現在より相当良かったように思う。

又、学友の中に地方行政の障害者福祉担当を務めていた者がいた。

施設開設後は、彼が出張で上京の度に必ず弊施設の視察に来て、利用者の闊達な姿に感激し、自分でテープや写真を撮り指導先の複数施設に見せたり、色々な施設研修会などに講演を依頼されたり、弊会への視察を進めたり他の施設利用者の処遇改善に尽力してくれた。

彼は「障害者も人間、俺達も人間、だから俺達に近い生活をさせる事を心がけている。それにしても、我が国の障害者支援は「おかし」度々そんな事を言っていた。

欠けている「就労」+「衣食住支援」
B型利用者36万人の90%が
月額工賃(給与) 2万円未満
※2020年度工賃資料(別添)

前文の彼が思っていたように我が国の障害者就労支援施設は何か

令和2年度・令和3年度都道府県別平均工賃

(就労継続支援B型事業所)

(円/月額)

都道府県	令和2年度	令和3年度	都道府県	令和2年度	令和3年度
北海道	19,202	19,523	滋賀県	17,252	18,148
青森県	12,265	15,255	京都府	15,838	16,749
岩手県	19,253	19,713	大阪府	12,142	12,786
宮城県	17,247	18,240	兵庫県	13,677	14,354
秋田県	15,484	15,774	奈良県	16,224	17,311
山形県	11,691	12,943	和歌山県	17,277	17,869
福島県	14,820	15,195	鳥取県	19,203	19,797
茨城県	14,349	15,201	島根県	19,201	19,749
栃木県	16,405	17,389	岡山県	14,643	14,805
群馬県	16,668	17,562	広島県	16,779	17,412
埼玉県	14,006	14,722	山口県	18,821	19,570
千葉県	13,478	14,572	徳島県	21,631	21,550
東京都	14,777	15,563	香川県	16,664	16,890
神奈川県	14,517	14,956	愛媛県	16,717	17,351
新潟県	14,325	15,317	高知県	20,310	20,597
富山県	16,135	17,058	福岡県	13,673	14,691
石川県	14,931	15,982	佐賀県	19,327	19,628
福井県	20,895	22,093	長崎県	17,981	19,150
山梨県	16,876	17,913	熊本県	15,062	15,760
長野県	15,070	16,153	大分県	17,924	18,917
岐阜県	15,346	16,390	宮崎県	19,631	20,225
静岡県	15,529	16,468	鹿児島県	17,470	18,217
愛知県	16,822	17,653	沖縄県	15,638	16,016
三重県	16,608	17,305	全国平均	15,776	16,507

おかしい。
例えばヨーロッパの福祉先進国の一つドイツには、B型に似た就労型施設がある。地域差はあるが、生活支援として家賃補助金月額6万円程度を加えると、月に15万円前後が支給されている。(生活保護費とは違う)

一方、我が国のB型利用者には生活支援費の支給はゼロ円である。何が違うかと言えば「生きる」を支援する考え方が根本的に違うと感じた。
これまで会議や研修等で複数の先進国を訪問したが、彼等の共通している事は、生きるために最も

必要な条件である「就労」+「衣食住」に対する支援の「考え方」である。
例えば「B型の目的」に関する関連法を纏めると次のようになる。

B型関連法で定めている 条文に対する軽視姿勢

「企業等への雇用が困難な障害者に生産性を加味した訓練と就労の機会を提供し、社会生活や自立生活を営む事が出来るよう、一定水準の工賃を支給するよう務める」何故この法律を守らないのか理解出来ない。
自身、授産施設利用者からスタートし60余年間、授産一筋に生きてきた。
しかし、前文を守り自立生活移行まで考慮して経営しているB型施設関係者はほんの一握りである。60年間改善されず

にいるのは如何なものか。
支給工賃を毎年何故行政に報告か
低工賃施設を指摘するため
ではないのか

令和3年度の都道府県のB型平均工賃資料が厚労省から公表された。(上表)

関係法には「B型の目標」として「一定水準の工賃を支給し、自立生活移行に」とあるが、可能性がある施設は2〜3%である。

これまで関係行政から公表された資料は都道府県レベルの施設別一覧表だけで、改善はどこもやっていないようだ。

B型施設が加入している全国組織も、全く工賃改善に見向きもしない。正に利用者処遇改善を放棄しているのでは。

上表の厚労省から公表された、令和3年度の全国平均工賃は16,507円。自立生活移行どころか老後は生活保護受給の危険性が高い。こんな状態が今後も続くなら、B型施設が必要かどうか利用者のために真剣に議論すべきである。

毎年度、作成し改善に利用すべきでは

残念ながら全国版は関係行政や加入団体からも作成されていない。利用者の処遇改善には欠かす事の出来ない重要資料である。

東京都のB型施設数 897 施設で、前年度より 27 施設増加。

2021 年度 東京都月額平均支給工賃ベスト 10

= ベスト 5 迄は前年と同じ順位 =

(単位: 円)

NO	事業所名	平均月額工賃	前年対比
1	チャレンジャー	99,705	5,035
2	日の出リハビリ	79,953	756
3	ぼぶら八王子	78,952	1,752
4	東京ワークショップ	78,673	1,516
5	ワークステーション立川	69,571	317
6	ワークスタディ日の出	64,835	1,214
7	麵屋時風	64,456	6,789
8	武蔵境ワーキングセンター	58,451	ベスト10外から
9	ふれあい作業所西品川	52,355	ベスト10外から
10	第1リサイクル洗びんセンター	49,780	▲15,447

*1位と8位は同法人経営

*2位と5位と6位は弊会経営施設

全施設
平均工賃額 **15,563 円**

**〔福東京リハビリ協会・令和5年度工賃見込額・3、4年度実績額
II 就労継続支援B型事業3施設(定員125名) II
〜25年前の工賃年収115万円にほぼ追いついてきた〜**

来年、創業60周年を迎えるに当たり、2024年(令和6年度)の、利用者の生活向上の基礎となる「工賃目標額」を年収100万円台(月収8万円台)にする事を、創業55周年時に決定した。

しかし、突然の新型コロナによって、事業収入がダウンする一方、光熱水費関連を始め諸物価値上の攻勢があり、伸び率は若干下回ったが、来年度の工賃目標額8万円代は手の届く処に迄来た。

実は、26年前に「束縛が多い」「他人に遠慮しながら」長時間過ごしていた寮を廃止し、健常者と同等の自立生活実現の為に、40人の自宅を賃借した時の工賃が、年収100万円台であった。当時の利用者は身

体障害者が100%。現在は様変わりし、知的障害者が圧倒的に多く、障害も重度化・多様化している。支援職員数も7.5:1と限られている中で、25年前のレベルに近づいて来た事は、営業、商品開発、生産、管理、配送、メンテナンス等々の職員の支援が有つて、104名の利用者が自由な生活環境の中での暮らしを確保している。今後自立生活者も年々増えていくと思うが、TRAの経営目標を忘れずに、利用者処遇の向上に取り組んでほしい。その為には、新商品開発による利益確保が条件になるので、積極的な取り組みを。

(単位: 円)

	ワークステーション立川		日の出リハビリ		ワークスタディ日の出		法人平均	
	平均工賃額	前年対比	平均工賃額	前年対比	平均工賃額	前年対比	平均工賃額	前年対比
令和3年度	69,571		79,953		64,834		71,492	
令和4年度	73,135	3,564(5.1%)	80,044	91(0.1%)	72,433	7,598(11.7%)	74,971	3,479(4.9%)
令和5年度	74,701	1,566(2.1%)	82,628	2,584(3.2%)	75,200	2,767(3.8%)	77,190	2,219(3.0%)

*数値の差は、施設の科目の収支や利益によって変動する。*令和5年度は見込み

東京都の自立生活可能な4万円以上の工賃支給施設は3.2%

自立生活を営む「地域」や「家賃」等で必要生活費は変わるが、弊会調査では年金+工賃4万円。グループホーム利用で自立生活を営むケースもあり。

ただし、弊会においては、親亡き後の安定生活を視野に入れ、25年間以上在籍、預金月額3万円前後及び賞与プラスの老後対策、貯蓄金を一つの目標にしてきた。35年前から実行に移し、平成9年(1997年)に老朽化した入所授産施設稲城リハビリを廃止し、厚生省の勧めで「職住分離施策」に賛同し、我が国の授産施設で初めて入所施設を廃止し、街中に分散して自立生活する事を決断した。その時の40人の利用者の工賃+障害年金の年収が、平均211万円、現在は個別預貯金を確認することは避けているが、当時は本人も平気で預金通帳を開帳していたが、30名以上の利用者が1千万円以上を貯えていた。現在104名が自立生活を営んでいるが、役員クラスでも、財産確認は避けているが、当と比較し障害の重度化・多様化を考慮すると、貯蓄する事を指導する事も重要であるが、重度障害者専用の支援職員が常駐している高齢者支援施設を多く開設する事が必須と考えている。

2021 年度東京都 B 型施設 工賃支給額別資料

支給工賃額	施設数	%	備考
9万円台	1	0.1	自立生活可能工賃支給額30施設わずか3.2%
7万円台	3	0.3	
6万円台	3	0.3	
5万円台	2	0.2	
4万円台	21	2.3	
3万円台	43	4.8	
2万円台	131	14.7	
1万円台	387	43.3	
1万円未満	303	33.9	
計	894	100.0	

2023年度入所式



利用者
山本洋昭さん

楽しく仕事をしています。色々な仕事を覚えたいです。次のために早く寝て、体調管理をしています。



利用者
鍋島 謙さん

出荷場です。荷物を動かすのが楽しいです。早く寝て、体調管理をしています。



利用者
巨海敦也さん

タオルケットや布団をたたいたり、お給料がもらえたり、お風呂が使えるのが嬉しいです。



利用者
小川竜平さん

カバーのしやたし事が、頑張りな仕事です。枕を動かすのが好きです。

令和5年4月3日(月)、2023年度入所式が行われた。3年ぶりによく皆が揃って対面での実施となり、嬉しそうな笑顔があちこちで見られた。始めにプロジェクトの画面ごしに立川・日の出事業所に向けて緑川理事長から挨拶があり、立川事業所に新しく4名の利用者が入所されたこと、両事業所の所長について立川は鈴木所長、日の出は小川所長が新しい所長になったことが紹介された。新年度が始まるにあたって、新しい方は今の気持ちを大切に、長くいる方は初心を思い出して、皆で力を合わせて新所長の下頑張っていきたいと思います。続いて立川事業所では入所式が執り行われ、期待と緊張の中、挨拶する4名の新しい仲間、期を待たずに温かい拍手が送られた。

(立川事業所サービス管理責任者 課長 泉恵子)

事業所だより

HAPPY BIRTHDAY

4月 5月

立川事業所	立川事業所
押領 司一さん	門脇 かおりさん
工藤 祐司さん	木村 憲一さん
巨海 敦也さん	久保田 健治さん
鍋島 謙さん	深山 文祥さん
清水 朋枝さん	横田 良樹さん
緑川 清美さん	
日の出事業所	日の出事業所
阿部 裕子さん	大谷 忍さん
大沼 琴美さん	小熊 憲次さん
岡村 佳奈さん	私市 昌則さん
小澤 一公さん	木下 圭司さん
鑑田 隆子さん	栗原 敬代さん
金田 知紀さん	小嶋 ミカさん
小俣 知美さん	佐藤 当さん
坂本 進さん	澤田 ジェミアさん
清水 孝二さん	下川 マリエタさん
白鳥 弘枝さん	須賀 剛さん
田村 ジャンペンさん	鈴木 隼人さん
塚田 由里さん	田丸 美登利さん
長澤 敬子さん	橋本 美和さん
橋本 朋弥さん	榛沢 美保子さん
長谷川 生貴さん	峯岸 圭子さん
原田 友章さん	
平野 哲生さん	
堀江 紀子さん	
水村 知恵さん	
山崎 莉穂さん	
渡邊 秀俊さん	

令和5年度行事予定のご案内

利用者みなさん、ぜひご参加下さい！

引き続き新型コロナウイルス感染症予防策を行い利用者の皆さんがワクワク楽しめる行事を企画しました。

もうすっかり定番となった大きなスクリーンを使った「おうちD

引き続き新型コロナウイルス感染症予防策などオンラインシリーズをはじめ、今年春と秋の2回「ポッチャ大会」の開催をする。

昨年大好評であったサクランボ農園の第2弾「出張農園」は、秋にブドウ狩りを予定している。

12月のクリスマスパーティーも飾

令和5年度 立川・日の出 主な行事企画

月	内容
5月	春のポッチャ大会
6月	おうちDE テマパーク
7月	手作りシリーズ～夏のグッズ編～
8月	おうちDE 夏祭り&縁日くじ
9月	出張ぶどう農園
10月	あつまれ☆わくわくミニゲーム大会
11月	秋のポッチャ大会
12月	キラキラ☆ディズニースクラッチクリスマスパーティー (立川・日の出)
1月	おうちDE テマパーク
2月	みんなで楽しく!! リモート社会科見学
3月	☆サーカス&マジック☆を楽しもう!



4月22日(土)開催の手作りシリーズで作ったカラフルな鯉のぼり

訃報

4月9日ワークスタデイ日の利用者の伊藤政夫さん(48歳)が、かねてより病氣療養中でしたがご逝去されました。「よくなったらまたみんなとおしごとするよ! 頑張ってね!」と希望を捨てずに前向きな政夫さんでした。あらためて悲しみが募ります。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

ご意見や特集希望等、ございましたらお気軽にお問合せ下さい。(高橋章)